

革新的がん医療実用化研究事業 令和6年度 事後評価実施課題一覧

※所属は、評価実施日時点

No.	開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
【領域1】がんの本態解明に関する研究						
1	令和4年度	令和6年度	上園 保仁	東京慈恵会医科大学	特任教授	ヒトがん悪液質を反映する独自樹立悪液質モデルを用いての悪液質の本態解明、ならびに創薬、診断に有用な「がん悪液質PDXモデル」の確立とその活用
2	令和4年度	令和6年度	小川 誠司	京都大学	教授	新規CLK阻害薬の臨床最適化を可能とする多層オミクス解析によるバイオマーカー探索
3	令和4年度	令和6年度	加藤 真一郎	名古屋大学	助教	エピゲノム制御因子の非酵素活性機能を標的とした治療抵抗性難治がんに対する新規治療法の開発
4	令和4年度	令和6年度	熊谷 尚悟	国立がん研究センター	研究員	神経内分泌関連腫瘍におけるがん免疫治療耐性機序の解明と治療展開
5	令和4年度	令和6年度	高倉 伸幸	大阪大学	教授	がん悪液質を抑制するアンジオクリン因子の同定とその応用
6	令和4年度	令和6年度	田中 庸介	国立がん研究センター	研究員	スキルス胃がんの革新的ゲノム医療開発
7	令和4年度	令和6年度	常松 貴明	徳島大学	—	がん特異的特殊化リボソームの同定とその機能解析による革新的治療戦略の創出
8	令和4年度	令和6年度	富樫 庸介	岡山大学	教授	腫瘍微小環境のミトコンドリア異常に基づく新規バイオマーカー及び治療開発
9	令和4年度	令和6年度	中奥 敬史	国立がん研究センター	研究員	3次元変異集積解析から導出される新規治療標的遺伝子変異クラスターの探索
10	令和4年度	令和6年度	長崎 譲慈	岡山大学	助教	T細胞の長期生存・メモリー形成因子に基づくがん免疫療法の新規バイオマーカー・治療開発
11	令和4年度	令和6年度	西川 博嘉	国立がん研究センター	分野長	臓器・組織の特異性に着目した新規免疫複合療法の開発
12	令和4年度	令和6年度	平田 英周	金沢大学	准教授	代謝型グルタミン酸受容体を標的としたがん脳転移治療法の開発
13	令和4年度	令和6年度	安田 浩之	慶應義塾大学	専任講師	肺癌オルガノイドライブラリーを用いた肺癌フェノタイプ多様性を規定する分子基盤解明と新規治療標的の同定
14	令和4年度	令和6年度	山下 大生	国立がん研究センター	医員	シングルセル解析、空間トランスクリプトーム解析、酸素飽和度イメージング内視鏡での酸素飽和度情報を統合したmulti-layer omics dataでの食道表在癌の浸潤メカニズム解明についての研究
15	令和4年度	令和6年度	吉田 健一	国立がん研究センター	分野長	前がん病変の空間的ゲノム、発現解析による肺腺がん多段階発がん機構の解明
【領域2】がんの予防法や早期発見手法に関する研究						
1	令和4年度	令和6年度	植田 幸嗣	がん研究会	プロジェクトリーダー	前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-Indexに対する前臨床試験
2	令和4年度	令和6年度	片野田 耕太	国立がん研究センター	部長	がん予防に資する個人と社会経済環境要因の解明のための疫学研究
3	令和4年度	令和6年度	深尾 彰	宮城県対がん協会	局長	個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究
【領域3】アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究						
1	令和4年度	令和6年度	東 達也	量子科学技術研究開発機構	部長	悪性中皮腫を対象としたポドプラニン標的放射免疫療法実用化に向けた非臨床試験
2	令和4年度	令和6年度	泉 大樹	国立がん研究センター	医員	LTK融合遺伝子陽性肺癌の診断法と、治療開発のためのコンパニオン診断薬の確立を目指した研究
3	令和4年度	令和6年度	榎本 篤	名古屋大学	教授	肉腫発現膜分子を標的とする抗体薬物複合体(ADC)の開発
4	令和4年度	令和6年度	遠藤 俊毅	東北医科薬科大学	教授	脊髄悪性神経膠腫を対象とした光線力学療法の開発研究
5	令和4年度	令和6年度	大槻 雄士	藤田医科大学	特任助教	xCT 阻害剤PEG 化スルファサラジンとALDH 阻害剤オキシフェドリンの配合による新規抗がん剤の開発
6	令和4年度	令和6年度	加藤 元博	東京大学	教授	初発小児急性リンパ性白血病に対するブリナツモマブの適応拡大を目指した医師主導治験
7	令和4年度	令和6年度	金子 新	京都大学	教授	GPC3発現手術不能進行・腹膜播種卵巣明細胞腺癌を対象としたヒト同種iPS細胞由来GPC3-CAR 再生自然キラーリンパ球(ILC/NK)の安全性、忍容性および薬物動態を検討する第Ⅰ相臨床試験
8	令和4年度	令和6年度	清宮 啓之	がん研究会	部長	切除不能進行・再発大腸がんを対象としたタンキラーゼ阻害剤の医師主導第Ⅰ相治験
9	令和4年度	令和6年度	椎名 勇	東京理科大学	教授	既存分子標的抗がん剤不応性の遺伝子変異を有するがんを治療対象とした小胞体ストレス応答を制御する新しいARF-GEF阻害経口低分子医薬品の開発

No.	開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
10	令和4年度	令和6年度	末廣 陽子	九州がんセンター	部長	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験
11	令和4年度	令和6年度	玉田 耕治	山口大学	教授	難治性固形がんに対する次世代CAR-T細胞療法の研究開発
12	令和4年度	令和6年度	本田 諒	岐阜大学	准教授	Non-G12C変異型RASを標的とするキメラ型タンパク質の開発
13	令和4年度	令和6年度	葉 清隆	国立がん研究センター	医長	新規ドライバー遺伝子であるLTK融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する個別化治療の開発を目指した研究
【領域4】患者に優しい新規医療技術開発に関する研究						
1	令和4年度	令和6年度	秋元 哲夫	国立がん研究センター	非常勤医師	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験
2	令和4年度	令和6年度	井垣 浩	国立がん研究センター	科長	前立腺癌に対するMR画像誘導即時適応定位放射線治療の臨床応用を目指す研究
3	令和4年度	令和6年度	高丸 博之	国立がん研究センター	医員	高精細内視鏡併用・共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた早期胃がんに対する狙撃光学生検の臨床応用と実用化
4	令和4年度	令和6年度	田中 将太	岡山大学	教授	初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験(医師主導治験)
5	令和4年度	令和6年度	多根井 智紀	大阪大学	講師	生細胞染色CTS(Click-to-sense)法を用いた乳がんの乳房温存手術の切除断端に対する術中迅速診断の確立
6	令和4年度	令和6年度	宮武 伸一	大阪医科薬科大学	特別職務担当教員(教授)	新規BNCT治療システムによる再発難治性高悪性度髄膜腫に対する第II相医師主導治験に関する研究開発(フォローアップ)
【領域5】新たな標準治療を創るための研究						
1	令和4年度	令和6年度	秋吉 高志	がん研究会	副部長	進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第II相試験
2	令和4年度	令和6年度	明智 龍男	名古屋市立大学	教授	乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発 : 革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験
3	令和4年度	令和6年度	池松 弘朗	東京大学	教授	局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌(pT1癌)に対するカペタビン併用放射線療法の単群検証的試験(JCOG1612)
4	令和4年度	令和6年度	大森 一弘	岡山大学	准教授	がん化学療法に伴う口腔粘膜炎症症患者に対する新規口腔粘膜保護法の有効性および安全性を検討する臨床試験の実施
5	令和4年度	令和6年度	神林 智寿子	新潟県立がんセンター 新潟病院	乳腺外科部長	非浸潤性乳管癌(DCIS)に対する有効かつ安全な患者QOLの向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験
6	令和2年度	令和5年度	木下 貴之	東京医療センター	副院長	標準的乳がんラジオ波熱焼灼療法開発に係る多施設共同試験
7	令和4年度	令和6年度	古平 毅	愛知県がんセンター	部長	頭頸部癌化学放射線療法における予防領域照射の線量低減に関する ランダム化比較試験
8	令和4年度	令和6年度	櫻井 英幸	筑波大学	教授	局所限局性前立腺癌中リスク症例に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験と多種の放射線治療モダリティとの比較を可能とする局所限局性前立腺癌に対する強度変調放射線治療の多施設前向き観察研究
9	令和4年度	令和6年度	貞廣 良一	国立がん研究センター	医長	がん患者における術後せん妄予防のプレシジョンメディシンの開発
10	令和4年度	令和6年度	全田 貞幹	国立がん研究センター	科長	マルチステークホルダーを擁する支持療法・緩和治療領域における研究手法の標準化に関する研究
11	令和5年度	令和6年度	田原 信	国立がん研究センター	頭頸部内科長	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
12	令和4年度	令和6年度	辻 哲也	慶應義塾	教授	食道癌術後患者を対象とした外来がんリハビリテーションプログラムの開発に関する研究
13	令和4年度	令和6年度	西山 菜々子	大阪公立大学	助教	緩和ケア病棟入院中のがん患者に対するリハビリテーションの有効性検証ならびに普及実装に向けた研究
14	令和4年度	令和6年度	福原 規子	東北大学	准教授	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化第Ⅲ相試験
15	令和4年度	令和6年度	藤森 麻衣子	国立がん研究センター	室長	包括的がんゲノムプロファイリング検査を受ける患者の苦痛緩和支援プログラム開発に向けた観察研究
16	令和4年度	令和6年度	吉川 貴己	国立がん研究センター	科長	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第III相試験
17	令和5年度	令和6年度	渡辺 俊一	国立がん研究センター	科長	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究
18	令和4年度	令和6年度	渡利 英道	北海道大学	教授	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験

No.	開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
【領域6】ライフステージやがんの特性に着目した重点研究						
1	令和4年度	令和6年度	荒川 芳輝	京都大学	講師	初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発
2	令和5年度	令和6年度	石木 寛人	国立がん研究センター	医長	患者報告アウトカムを利用したAYA世代がん患者支援ツールの開発
3	令和4年度	令和6年度	伊藤 雅昭	国立がん研究センター	副院長	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発
4	令和4年度	令和6年度	隈部 俊宏	北里大学	教授	可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究
5	令和5年度	令和6年度	釧持 広知	静岡県立静岡がんセンター	医長	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
6	令和4年度	令和6年度	康 勝好	埼玉県立小児医療センター	科長	小児から成人をシームレスに対象とした B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究
7	令和5年度	令和5年度	古賀 友紀	九州大学	准教授	小児・AYA 世代ホジキンリンパ腫におけるブレンツキシマブ・ベドチン先行投与反応性による治療層別化とアントラサイクリン系薬剤減量および放射線照射全廃を目指した治療の確立
8	令和5年度	令和6年度	鈴木 茂伸	国立がん研究センター	科長	網膜芽細胞腫患者・家族の包括的支持緩和ケアの前向きコホート研究
9	令和5年度	令和6年度	鈴木 智成	埼玉医科大学	准教授	びまん性内在性橋グリオーマ(DIPG)のレジストリ構築および緩和ケアの実態解明を目的とした多施設共同前方視的観察研究
10	令和4年度	令和6年度	田仲 和宏	大分大学	教授	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究
11	令和4年度	令和6年度	田村 研治	島根大学	教授	高齢者HER2 陽性進行乳癌に対するT-DM1療法とペルツズマブ＋トラスツズマブ＋ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験
12	令和4年度	令和6年度	津端 由佳里	島根大学	診療教授	高齢がん医療の質の向上を目指した診療体制の基盤整備に関する研究
13	令和4年度	令和6年度	中村 泰大	埼玉医科大学	教授	爪部悪性黒色腫への指趾骨温存切除による新たな低侵襲標準治療の開発
14	令和4年度	令和6年度	水野 伸匡	愛知県がんセンター	医長	消化管・膵原発の切除不能進行・再発神経内分泌腫瘍に対するエベロリムス単剤療法とエベロリムス＋ランレオチド併用療法のランダム化第III相試験
15	令和4年度	令和6年度	横田 知哉	静岡県立静岡がんセンター	医長	局所進行切除可能HPV陽性中咽頭癌に対する導入化学療法後の低侵襲手術に関する第2相試験
16	令和4年度	令和6年度	吉田 達哉	国立がん研究センター	医長/医員	高齢者における免疫チェックポイント阻害剤の投与方法別における薬物動態と毒性変化、免疫応答解析の前向き観察研究
【サポート機関】がんの本態解明から革新的な医療実用化に向けた一貫したマネジメントスキームの確立研究						
1	令和4年度	令和6年度	濱田 哲暢	国立がん研究センター	センター長	がんの本態解明から革新的な医療実用化に向けた一貫したマネジメントスキームの確立研究